日経産業新聞フォーラム2013



ITが創り出す『おもてなし』の未来

~的確なエクスペリエンスデザインの為のサービス&テクノロジー~

SCSK株式会社 ビジネスサービス事業部門 ビジネスサービス事業本部 副本部長 萩原 照久

会社概要



社名 :SCSK株式会社

代表取締役社長 :中井戸 信英

本社所在地:東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント

設立 :1969年10月25日

資本金 :211億5千2百万円

取引所 :東京証券取引所 市場第一部

2013年度業績予想:2,800億円(2013年3月期 第3四半期決算短信より)

2011年10月より以下の2社が合併しSCSK株式会社となりました

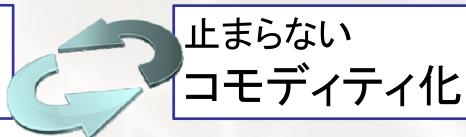
旧:住商情報システム株式会社(SCS)

旧:株式会社CSK

本日お話したいこと



国内GDPは 20年も横ばい



差別化/リピート化の手法として 良質な顧客体験の提供が重要

『おもてなし』は有効な概念のひとつ

scskはITとサービスで ビジネスにおける『おもてなし』をサポート

1:おもてなしとは?



おもてなし

「モノをもって成し遂げる」に美化語の「お」を加えた言葉

「表も裏もない」心でお客様に対応すること



機能

接客





2:おもてなしの例 ~茶道より~



茶道では、亭主(ホスト)が客(ゲスト)に喜んでもらう為に 様々な要素を考慮して、茶会全体をコーディネートする

をおおいてなしの。 をの好みは? をの好みは? 気温は? をのがおもてなしの。 ない。

奏道具はどれにする? お香は?室温は? を実はどうする? 掛け軸は?お花は?

おもてなしの 要素







3:現実のビジネスでは





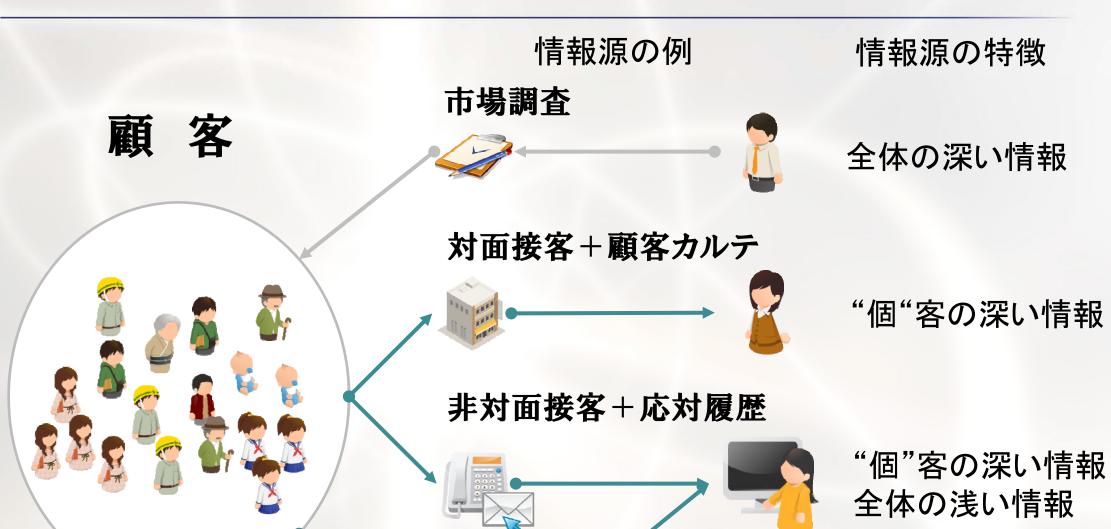
亭主





4:「おもてなしの心」とは顧客を知ることから





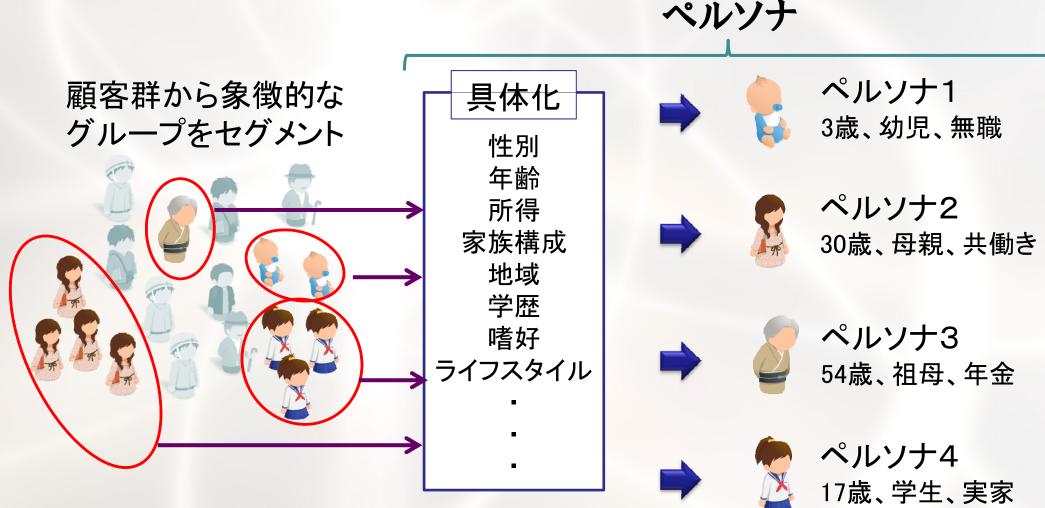
ソーシャルメディア

"個"客の浅い情報 即時性の高い情報

5:膨大な情報から「顧客」を知る手法



WEB開発や、流通サービス業で活用が進んでいる「ペルソナ手法」は有効なアプローチの1つ



6:理想のエクスペリエンスデザイン



社内の各部署が、「おもてなしの心」で 「エクスペリエンスデザイン」を行う事が重要

ペルソナ1



ペルソナ2

196

ペルソナ3



ペルソナ4





商品開発部

どんな機能?デザイン?



マーケティング部

どんな訴求?メッセージ?



コールセンター

どんな応対?ご案内?

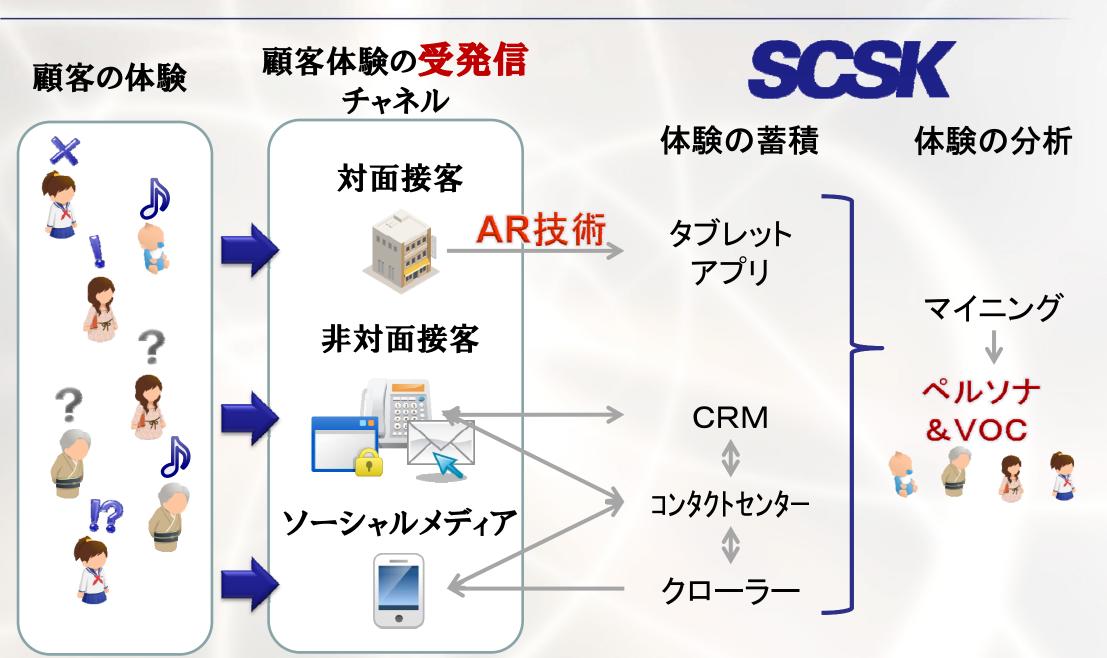


店舗・ショールーム

どんな接客?レイアウト?

7: 顧客を知るための「サービス&テクノロジー」 SCSK

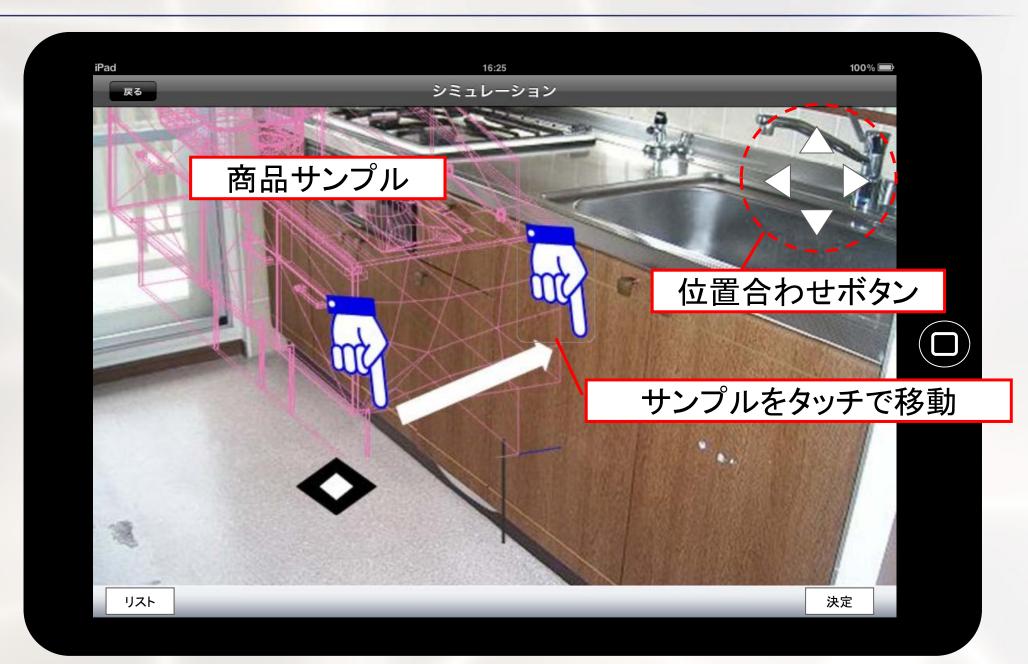


















現在: 展示できる商品には、限界があった

→想像力で補って頂く



未来: AR活用により、限界が取り払われる

→自宅でARを使い試す事ができる



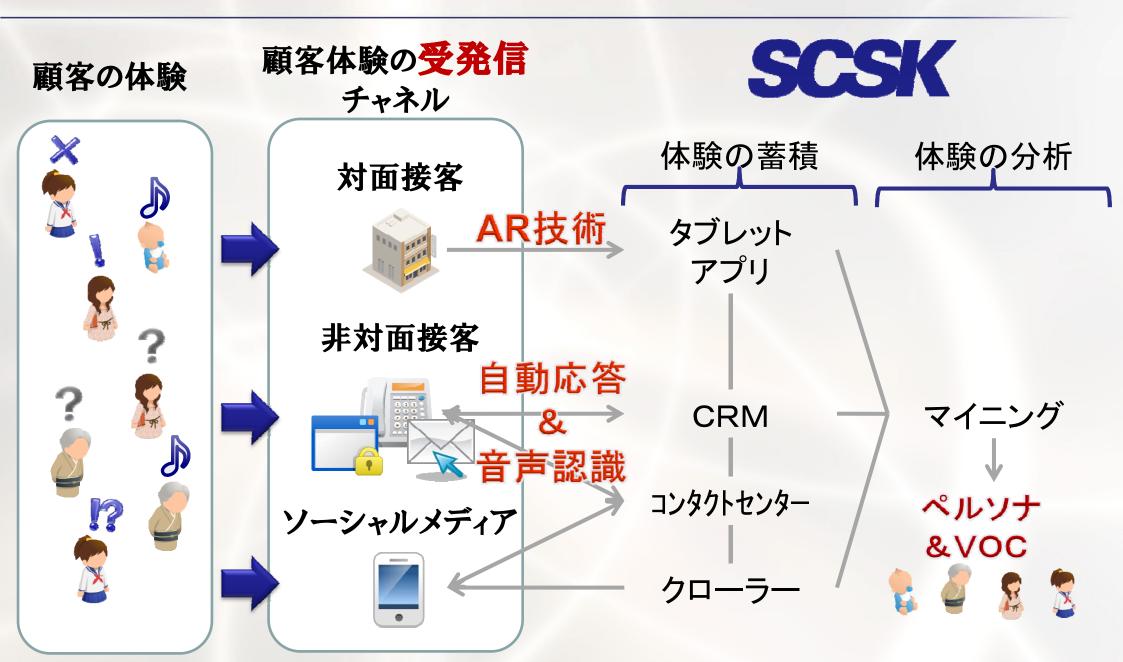
顧客体験の向上

+

お客様の興味/好みの把握

7:顧客を知るための「サービス&テクノロジー」

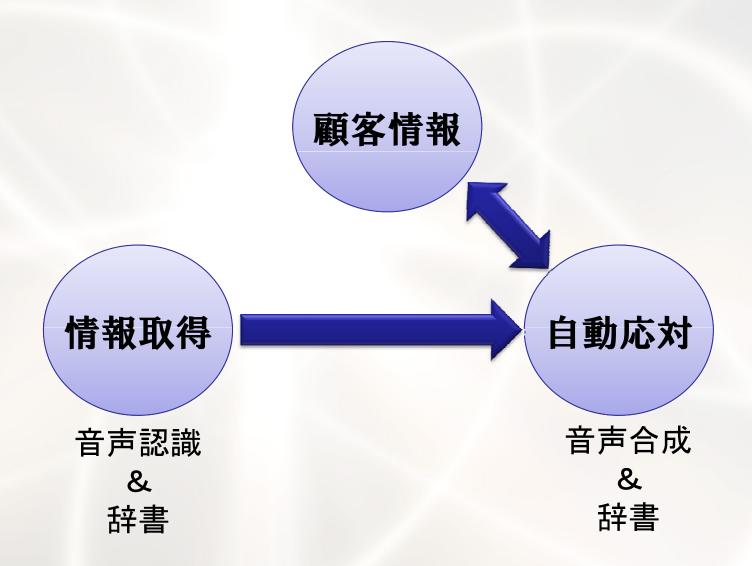




音声認識の事例



音声認識を活用するためのテクノロジー



音声認識の事例



音声認識活用による自動受付の事例

萩原ですが予約 をお願いします



じゃあ、テラス席 をお願いします。













萩原様、いつもありがとうございます。 ご予約をどうぞ!

テラス席が空い ておりますが如 何でしょうか?

萩原様の好きな 赤ワインが入荷 しておりますが?

音声認識 音声合成



萩原様だって!

テラス席が好きみたい



顧客管理システム

最後に:サービス&テクノロジーの活用イメージ SCSK



Plan

顧客像にもとづく複数の エクスペリエンスデザイン



BPO領域

Action

各種デザインの 修正•変更



ペルソナ & VOC



Check

顧客像ごとのオペレー ション結果をチェック

了領域

BPO領域

Do

デザインにもとづく オペレーションの実行







ご清聴、ありがとうございました